

事業評価シート

025107 予防接種事業

事業コード 025107 事業名: 予防接種事業

総合計画体系 (上位の政策・施策)	政策 : 笑顔あふれる 健やかなまち
	施策 : 保健衛生
	施策の方向: 予防接種の推進

主管部局名	健康部	主管課名	健康づくり課	会計区分	一般会計		
事業主体	市	補助単独	単独	新規・継続	継続	事業開始	昭和30年代
進捗状況	実施段階	計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 28 年度				
根拠法令	予防接種法						
事務区分	法定受託事務	義務区分	非義務的経費	地域区分	市内全域		


- ・対象(何、誰を) [予防接種法の対象者](#)
- ・受益者(実際に利益を受ける人) [予防接種を受けた者](#)

- ・市民参加 **D**

A: 地域社会の主体としての市民、受益者としての市民、双方の視点からの参加がある
B: 地域社会の主体としての市民の参加がある
C: 受益者としての市民の参加がある
D: 特に市民参加がない

・手段(市が実際に行う事業の内容)

ポリオ・BCGを市民健康センターで集団接種
三種混合・二種混合・麻しん・風しん・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチンを医療機関で個別接種。
高齢者のインフルエンザ予防接種を医療機関で実施
平成24年よりポリオ単抗原、四種混合が個別接種で開始

 **活動指標** (手段から導かれ、事業の進捗状況を図るための指標)

活動指標名	目標値
① 予防接種率	90 %
②	
③	

活動指標の年度別状況

活動指標	① 予防接種率			②			③		
	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値
23 (決算)	102	113.30	102.1	-	-	-	-	-	-
24 (予算)	90	100.00	-	-	-	-	-	-	-
25 (計画)	90	100.00	-	-	-	-	-	-	-
26 (計画)	90	100.00	-	-	-	-	-	-	-
27 (計画)	90	100.00	-	-	-	-	-	-	-
28 (計画)	90	100.00	-	-	-	-	-	-	-

・意図(どういう状態にしたいのか)

各種予防接種を実施することによって、感染症のまん延防止と感染の予防を図る。

成果指標

(意図から導かれ、事業の目的達成度を図るための指標)

成果指標名	
目標値	0
指標式	

成果指標の年度別状況

区分 年度	年度別 目標値	計画目標 値に対する 割合	実績値
23 (決算)	-	-	-
24 (予算)	-	-	-
25 (計画)	-	-	-
26 (計画)	-	-	-
27 (計画)	-	-	-
28 (計画)	-	-	-

・事業実施上の検討課題

予防接種に対する意識を高め、いかに接種率の向上を図るか

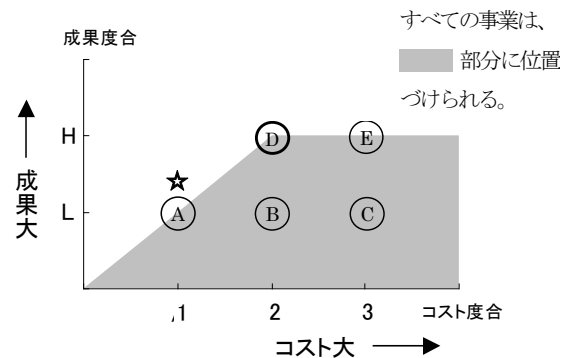
・備考(現状等)

予防接種法

・事業のポジショニング A (コストを増やして成果を向上) (位置付け)

・ポジショニングの説明・改善方策

・法による実施事業であり単価についても県下統一のため、市単独でのコストの削減は難しい。・予防接種に対する啓発を進める



①:コストを増やして成果を向上 ②:コストを現状維持(理想の状態)
③:コストを維持して成果を向上 ④:コストを削減
⑤:コストを削減して成果を向上 ⑥:事業を統合又は廃止

事業費等の年度別状況

区分 年度	事業費(千円)	所要時間	概算人件費 (千円)	概算総事業費 (千円)	受益者数	受益投資額 (円)
23 (決算)	339,868	1320	2,868	342,736	31,692	10,815
24 (予算)	326,002	1320	2,954	328,956	32,050	10,264
25 (計画)	383,997	1444	3,224	387,221	32,550	11,896
26 (計画)	383,997	1444	3,216	387,213	32,550	11,896
27 (計画)	383,997	1444	3,209	387,206	32,550	11,896
28 (計画)	383,997	1444	3,209	387,206	32,550	11,896

※・概算人件費=所要時間×1時間当たりの平均人件費単価
・概算総事業費=事業費(直接事業費)+概算人件費
・受益投資額=受益者1人当たりの投資額=概算総事業費÷受益者数

・政策・施策評価の視点からの内部評価

事業評価 **B(8点)** 改善する必要性が低い。

○必要性について **A(9点)** 改善する必要性が極めて低い。

視点1 政策の目的が市民や社会のニーズにかな(うものか)っているか

B(8点) 十分ニーズに即(する)している。

視点2 当初の事業目的を達していないか

B(8点) 十分対応している。

視点3 事業目的に対して効果があがっているか

A(10点) 市で実施する必要がある。

○効率性について **B(8点)** 改善する必要性が低い。

視点1 予算や人員に見合った効果が得(られる)られているか

B(8点) 十分効果がある。

視点2 他市と比べてコストはどうか

B(8点) 十分効率的である。

視点3 他の類似事業と比べてコストはどうか

B(7点) 取り組んでおりほとんど改善の余地はない。

○有効性について **A(9点)** 改善する必要性が極めて低い。

視点1 政策達成のために有効か

A(9点) 極めて高い。

視点2 期待された成果が得られているか

B(8点) 十分得られている。

○公平性について **B(7点)** 改善する必要性が低い。

視点1 対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか

— **評価対象外**

視点2 受益者の費用負担は適当か

B(7点) ほぼ適当である。

○優先性について — **評価対象外**

視点1 他の事業と比較して優先的に実施すべきか

— **評価対象外**

視点2 延伸、廃止した場合に大きな影響があるか

— **評価対象外**

※各視点の評価点と合計の評価点とは四捨五入の関係で不整合が生じる場合がある。

(内部評価詳細)

一次評価＝所管部局長の評価
二次評価＝行政評価委員会の評価

改善性	↓	A (10～9点)
		B (8～7点)
		C (6～5点)
		D (4～3点)
	↑	E (2～1点)
	高	

事業評価(内部): B (8点) 一次評価: B (8点) 二次評価: B (8点)

必要性	視点	①施策(事業)の目的が現在の市民や社会のニーズにかなっている(た)か ②事業の対象や内容は行政需要の変化に対応している(た)か ③国、県、民間、地域との役割分担からみて市が行う必要があるか ※法令上義務は10			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	A (9点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 視点③ 平均	B・8 B・8 A・10 A・9	予防接種法により、実施主体は市町村とされているが、市としては各疾病予防の点で大変有効であり、国民の生活を保持する上からも積極的に接種勧奨することが重要で、市町村の財政力で格差が生じることのないよう、国の責任で必要な財源を確保し、推進すべきであると考え。	B・8 B・8 A・10 A・9
効率性	視点	①予算や人員に見合った効果が得られている(た)か ②他市と比べてコストはどうか ③コスト(予算・人員)改善に取り組んでいる(た)か			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (8点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 視点③ 平均	B・8 B・8 B・7 B・8	県下統一単価であり、予防接種により感染症を抑制し、医療費の削減が図られる。	B・8 B・8 B・7 B・8
有効性	視点	①事業を実施することでの施策目標への貢献度 ②成果を向上させる余地はあるか			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	A (9点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 平均	A・9 B・8 A・9	感染症の予防対策として、有効な手段である。	A・9 B・8 A・9
公平性	視点	①対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか ②受益者の費用負担は適当か			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (7点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 平均	— B・7 B・7	予防接種法等により対象者が限定されている。	— B・7 B・7
優先性	視点	①施策内の他の事業と比較して優先的に実施すべきか ②延伸、廃止した場合に市民の生命・身体及び財産に影響があるか			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	- (-点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 平均	— — —	予防接種法により実施主体は市町村と定められている。	— — —

二次評価コメント

感染症の予防対策として必要不可欠な施策であるが、費用負担が予防接種法で市民に対して一部負担できるとされているが、ほとんどの市町村においては、その経費を公費において負担しており、大きな財政負担となってきている。費用負担のあり方も適宜研究し、国の負担について機会を捉えて要望、実現を粘り強く求めていくべきである。

事業評価シート

025701 広域大和斎場組合運営事業

事業コード 025701 事業名: 広域大和斎場組合運営事業

総合計画体系 (上位の政策・施策)	政策 : 笑顔あふれる 健やかなまち
	施策 : 保健衛生
	施策の方向 : 広域大和斎場の管理運営

主管部局名	健康部	主管課名	健康づくり課	会計区分	一般会計		
事業主体	その他	補助単独	単独	新規・継続	継続	事業開始	昭和50年代
進捗状況	実施段階	計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 28 年度				
根拠法令	墓地、埋葬等に関する法律						
事務区分	自治事務	義務区分	非義務的経費	地域区分	市内全域		


- ・対象(何、誰を) 斎場組合
- ・受益者(実際に利益を受ける人) 火葬・式場利用者

- ・市民参加 D

A: 地域社会の主体としての市民、受益者としての市民、双方の視点からの参加がある
B: 地域社会の主体としての市民の参加がある
C: 受益者としての市民の参加がある
D: 特に市民参加がない

・手段(市が実際に行う事業の内容)

大和市、海老名市、座間市、綾瀬市の4市で広域大和斎場組合を組織し、火葬及び式場業務を行っている。また、広域大和斎場組合事務連絡協議会を組織し、斎場に関する調査研究等を行っている。

 **活動指標** (手段から導かれ、事業の進捗状況を図るための指標)

活動指標名	目標値
① 市民の火葬件数(年間)	956 件
② 市民の式場利用回数(年間)	580 回
③	

活動指標の年度別状況

活動指標	① 市民の火葬件数(年間)			② 市民の式場利用回数(年間)			③		
	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値
23(決算)	910	95.20	910	500	86.20	500	-	-	-
24(予算)	956	100.00	-	580	100.00	-	-	-	-
25(計画)	956	100.00	-	580	100.00	-	-	-	-
26(計画)	956	100.00	-	580	100.00	-	-	-	-
27(計画)	956	100.00	-	580	100.00	-	-	-	-
28(計画)	956	100.00	-	580	100.00	-	-	-	-

・意図(どういう状態にしたいのか)

組織市の火葬需要に対応できる体制を確立するとともに、式場の効率的な運用を図る。

成果指標

(意図から導かれ、事業の目的達成度を図るための指標)

成果指標名	市民の1日火葬可能件数
目標値	2.7
指標式	市民の年間火葬件数÷火葬炉使用可能日数

成果指標の年度別状況

区分 年度	年度別 目標値	計画目標 値に対する 割合	実績値
23 (決算)	2.58	95.60	2.58
24 (予算)	2.7	100.00	-
25 (計画)	2.7	100.00	-
26 (計画)	2.7	100.00	-
27 (計画)	2.7	100.00	-
28 (計画)	2.7	100.00	-

・事業実施上の検討課題

長期構想に基づく施設整備を推進する必要がある。

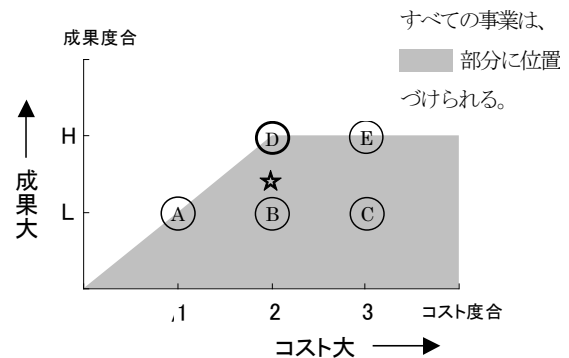
・備考(現状等)

墓地、埋葬等に関する法律

・事業のポジショニング B (コストを維持して成果を向上) (位置付け)

・ポジショニングの説明・改善方策

4市の協調のもとに適正な運営を図る



①:コストを増やして成果を向上 ④:コストを現状維持(理想の状態)
 ②:コストを維持して成果を向上 ⑤:コストを削減
 ③:コストを削減して成果を向上 ⑥:事業を統合又は廃止

事業費等の年度別状況

区分 年度	事業費(千円)	所要時間	概算人件費 (千円)	概算総事業費 (千円)	受益者数	受益投資額 (円)
23 (決算)	65,803	38	83	65,886	500	131,771
24 (予算)	66,361	36	81	66,442	580	114,554
25 (計画)	66,361	36	80	66,441	580	114,554
26 (計画)	66,361	36	80	66,441	580	114,554
27 (計画)	66,361	36	80	66,441	580	114,553
28 (計画)	66,361	36	80	66,441	580	114,553

※・概算人件費=所要時間×1時間当たりの平均人件費単価
 ・概算総事業費=事業費(直接事業費)+概算人件費
 ・受益投資額=受益者1人当たりの投資額=概算総事業費÷受益者数

・政策・施策評価の視点からの内部評価

事業評価 **A(9点)** 改善する必要性が極めて低い。

○必要性について **A(10点)** 改善する必要性が極めて低い。

- 視点1 政策の目的が市民や社会のニーズにかな(うものか)っているか
A(10点) 極めてニーズに即(する)している。
- 視点2 当初の事業目的を達していないか
A(10点) 極めて対応している。
- 視点3 事業目的に対して効果があがっているか
A(9点) 市で実施する必要がある。

○効率性について **B(7点)** 改善する必要性が低い。

- 視点1 予算や人員に見合った効果が得(られる)られているか
B(7点) 十分効果がある。
- 視点2 他市と比べてコストはどうか
A(9点) 極めて効率的である。
- 視点3 他の類似事業と比べてコストはどうか
C(5点) 取り組んでいるが多少改善の余地がある。

○有効性について **A(10点)** 改善する必要性が極めて低い。

- 視点1 政策達成のために有効か
A(10点) 極めて高い。
- 視点2 期待された成果が得られているか
A(9点) 極めて高く得られている。

○公平性について **A(10点)** 改善する必要性が極めて低い。

- 視点1 対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか
A(10点) 限定されていない。
- 視点2 受益者の費用負担は適当か
A(9点) 適当である。

○優先性について **A(10点)** 改善する必要性が極めて低い。

- 視点1 他の事業と比較して優先的に実施すべきか
A(10点) 優先度が極めて高い。
- 視点2 延伸、廃止した場合に大きな影響があるか
A(10点) 影響は甚大である。

※各視点の評価点と合計の評価点とは四捨五入の関係で不整合が生じる場合がある。

(内部評価詳細)

一次評価＝所管部局長の評価
二次評価＝行政評価委員会の評価

改善性 ↓ 高	A (10～9点)
	B (8～7点)
	C (6～5点)
	D (4～3点)
	E (2～1点)

事業評価(内部): A (9点) 一次評価: A (9点) 二次評価: A (9点)

必要性	視点	①施策(事業)の目的が現在の市民や社会のニーズにかなっている(た)か ②事業の対象や内容は行政需要の変化に対応している(た)か ③国、県、民間、地域との役割分担からみて市が行う必要があるか ※法令上義務は10			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
		視点	評点	コメント	評点
	A (10点)	視点① 視点② 視点③ 平均	A・10 A・10 A・9 A・10	高齢社会にあつて施設の利用需要は増加し続けている。	A・10 A・10 A・9 A・10
効率性	視点	①予算や人員に見合った効果が得られている(た)か ②他市と比べてコストはどうか ③コスト(予算・人員)改善に取り組んでいる(た)か			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
		視点	評点	コメント	評点
	B (7点)	視点① 視点② 視点③ 平均	B・7 A・9 C・5 B・7	4市の一部事務組合で運営しており、火葬対応などできる限りの効率化を図っている。	B・7 A・9 C・5 B・7
有効性	視点	①事業を実施することでの施策目標への貢献度 ②成果を向上させる余地はあるか			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
		視点	評点	コメント	評点
	A (10点)	視点① 視点② 平均	A・10 A・9 A・10	広域的に見ても利用者の増加に対して施設数が少ない。市民生活への貢献度は極めて高い。	A・9 A・9 A・9
公平性	視点	①対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか ②受益者の費用負担は適当か			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
		視点	評点	コメント	評点
	A (10点)	視点① 視点② 平均	A・10 A・9 A・10	4市の全市民が対象である。受益者負担については、今後のニーズや施設の老朽化の中で検討する必要がある。	A・9 A・9 A・9
優先性	視点	①施策内の他の事業と比較して優先的に実施すべきか ②延伸、廃止した場合に市民の生命・身体及び財産に影響があるか			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
		視点	評点	コメント	評点
	A (10点)	視点① 視点② 平均	A・10 A・10 B・10	高齢社会にあつて施設の利用需要は増加し続けており、斎場の有効性は極めて高い。	A・10 A・10 A・10
二次評価コメント					
高齢化社会にあつて施設の需用は増加してきているが、施設の維持、管理を含めた運営の面での効率性を高めるよう図るべきである。					

事業評価シート

025904 衛生害虫駆除事業

事業コード 025904 事業名: 衛生害虫駆除事業

総合計画体系 (上位の政策・施策)	政策 : 笑顔あふれる 健やかなまち
	施策 : 保健衛生
	施策の方向: 衛生環境の保全

主管部局名	健康部	主管課名	健康づくり課	会計区分	一般会計		
事業主体	市	補助単独	単独	新規・継続	継続	事業開始	平成22年度
進捗状況	実施段階	計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 28 年度				
根拠法令							
事務区分	自治事務	義務区分	義務的経費	地域区分	市内全域		

・対象(何、誰を)


・受益者(実際に利益を受ける人) 巣周辺の不特定多数の住民。

・市民参加 **D**

A:地域社会の主体としての市民、受益者としての市民、双方の視点からの参加がある
 B:地域社会の主体としての市民の参加がある
 C:受益者としての市民の参加がある
 D:特に市民参加がない

・手段(市が実際に行う事業の内容)

一般市民及び企業の敷地内に営巣している蜂の巣を委託業者に駆除依頼。

 **活動指標** (手段から導かれ、事業の進捗状況を図るための指標)

活動指標名	目標値
① 駆除件数	100 件
②	
③	

活動指標の年度別状況

活動指標	① 駆除件数			②			③		
	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値
23(決算)	88	88.00	88	-	-	-	-	-	-
24(予算)	100	100.00	-	-	-	-	-	-	-
25(計画)	100	100.00	-	-	-	-	-	-	-
26(計画)	100	100.00	-	-	-	-	-	-	-
27(計画)	100	100.00	-	-	-	-	-	-	-
28(計画)	100	100.00	-	-	-	-	-	-	-

・意図(どういう状態にしたいのか)

市民の蜂からの被害をなくす。

成果指標

(意図から導かれ、事業の目的達成度を図るための指標)

成果指標名	設定せず
目標値	0
指標式	

成果指標の年度別状況

区分 年度	年度別 目標値	計画目標 値に対する 割合	実績値
23 (決算)	-	-	-
24 (予算)	-	-	-
25 (計画)	-	-	-
26 (計画)	-	-	-
27 (計画)	-	-	-
28 (計画)	-	-	-

・事業実施上の検討課題

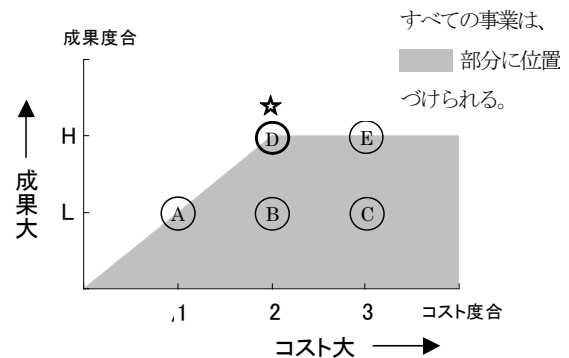
蜂の巣があるかどうかの確認が必要。

・備考(現状等)

・事業のポジショニング D (コストを現状維持=最大限にコストと成果がバランスがとれている状況)
(位置付け)

・ポジショニングの説明・改善方策

一般市民及び企業の敷地内に巣くった蜂の巣を、駆除業者に委託し蜂の巣を駆除する。



- Ⓐ:コストを増やして成果を向上
- Ⓑ:コストを維持して成果を向上
- Ⓒ:コストを削減して成果を向上
- Ⓓ:コストを現状維持(理想の状態)
- Ⓔ:コストを削減
- Ⓕ:事業を統合又は廃止

事業費等の年度別状況

区分 年度	事業費(千円)	所要時間	概算人件費 (千円)	概算総事業費 (千円)	受益者数	受益投資額 (円)
23 (決算)	1,117	120	261	1,378	88	15,656
24 (予算)	2,578	120	269	2,847	100	28,466
25 (計画)	2,578	120	268	2,846	100	28,460
26 (計画)	2,578	120	267	2,845	100	28,452
27 (計画)	2,578	120	267	2,845	100	28,446
28 (計画)	2,578	120	267	2,845	100	28,446

※・概算人件費=所要時間×1時間当たりの平均人件費単価
 ・概算総事業費=事業費(直接事業費)+概算人件費
 ・受益投資額=受益者1人当たりの投資額=概算総事業費÷受益者数

・政策・施策評価の視点からの内部評価

事業評価 **C(6点)** 改善する必要がある。○必要性について **C(6点)** 改善する必要がある。

視点1 政策の目的が市民や社会のニーズにかな(うものか)っているか

C(6点) 一部ニーズに即(さない)していない部分もある。

視点2 当初の事業目的を達していないか

C(6点) 一部対応していない部分もある。

視点3 事業目的に対して効果があがっているか

C(6点) 公共性等から市が実施する方が妥当である。○効率性について **B(7点)** 改善する必要性が低い。

視点1 予算や人員に見合った効果が得(られる)られているか

B(7点) 十分効果がある。

視点2 他市と比べてコストはどうか

B(7点) 十分効率的である。

視点3 他の類似事業と比べてコストはどうか

C(6点) 取り組んでいるが多少改善の余地がある。○有効性について **C(6点)** 改善する必要がある。

視点1 政策達成のために有効か

C(6点) 普通

視点2 期待された成果が得られているか

C(6点) 得られている。○公平性について **B(7点)** 改善する必要性が低い。

視点1 対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか

B(7点) 一部限定されているが限定の度合いが小さい。

視点2 受益者の費用負担は適当か

B(7点) ほぼ適当である。○優先性について **C(6点)** 改善する必要がある。

視点1 他の事業と比較して優先的に実施すべきか

C(5点) 優先的に実施したほうが望ましい。

視点2 延伸、廃止した場合に大きな影響があるか

B(7点) 影響は大きい。

※各視点の評価点と合計の評価点とは四捨五入の関係で不整合が生じる場合がある。

(内部評価詳細)

一次評価＝所管部局長の評価
二次評価＝行政評価委員会の評価

改善性	↓	A (10～9点)
		B (8～7点)
		C (6～5点)
		D (4～3点)
	↑	E (2～1点)
	高	

事業評価(内部): C (6点) 一次評価: B (7点) 二次評価: C (5点)

必要性	視点	①施策(事業)の目的が現在の市民や社会のニーズにかなっている(た)か ②事業の対象や内容は行政需要の変化に対応している(た)か ③国、県、民間、地域との役割分担からみて市が行う必要があるか ※法令上義務は10			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	C (6点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 視点③ 平均	B・7 B・7 B・7 B・7	自然環境の変化から近年、強毒なスズメバチが市民の生活環境に入り込むことが増え、また、多種の蜂も市民生活に不安を与えており、安心・安全な日常生活を維持するためにも、専門業者による駆除が必要である。	C・5 C・5 D・4 C・5
効率性	視点	①予算や人員に見合った効果が得られている(た)か ②他市と比べてコストはどうか ③コスト(予算・人員)改善に取り組んでいる(た)か			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (7点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 視点③ 平均	B・8 B・8 B・7 B・8	スズメバチ以外の駆除の依頼も多い、駆除方法の周知など自己責任での処理の普及を図る必要がある。	C・5 C・5 C・5 C・5
有効性	視点	①事業を実施することでの施策目標への貢献度 ②成果を向上させる余地はあるか			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	C (6点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 平均	B・7 B・7 B・7	市民の安心・安全な日常生活を維持するために有効である。	D・4 C・5 C・5
公平性	視点	①対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか ②受益者の費用負担は適当か			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (7点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 平均	B・8 B・8 B・8	全ての市民が対象のため、公平性は確保している。	C・5 C・5 C・5
優先性	視点	①施策内の他の事業と比較して優先的に実施すべきか ②延伸、廃止した場合に市民の生命・身体及び財産に影響があるか			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	C (6点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 平均	C・5 B・7 D・6	市民が安全・安心に暮らせるまちづくりの一助として行う。	C・5 B・7 C・6
二次評価コメント					
市民生活の安全を図るため駆除が必要であるが、駆除方法の周知など自己責任での処理の普及を図る必要がある。					